令和7年度 東郷町立音貝小学校 第1回学校運営協議会 議事録

日時：令和7年5月22日（木）
10時00分から11時30分まで
場所：東郷町立音貝小学校 校長室

1 開会の言葉（進行：教頭）

音貝小学校教頭：横井先生より開会の言葉

2 校長あいさつ

音貝小学校校長：柳川先生よりあいさつ

3 コミュニティ・スクールの概要

事務局からコミュニティ・スクールの概要について説明

4 自己紹介

近藤明生、武藤均、加藤美鈴、天野恵利子、堀野政芳、篠原明彦、箕浦克巳、田中絵美、田中義行、柴田勝歳、飯田博之、山下美里、柳川聖子(校長)、横井竜也(教頭)

5 議事

(1) 会長の選出について

委員の互選により、近藤明生委員を会長に選出
→参加者全員が承認

(2) 副会長の選出について

近藤明生会長の指名により、天野恵利子委員を副会長に選出
→参加者全員が承認

(3) 令和7年度の学校運営方針承認について

・学校経営計画について

(校長) 児童数398名、19クラスで令和7年度がスタートした。教職員は若手教員が増えた。

教育目標は昨年度から大きな変更はなく、「笑顔と感謝の言葉があふれる学校」を目指す。その手立てとしての合言葉を、昨年度の「じぶんよし ひとよし みんなよし」から目の前の相手を想起しやすいように「ひとよし」の部分を「あいてよし」に変更した。

また、児童会活動の重点は「時間で切り替える」「仲間と協力する」「元気な挨拶」となった。

・教育課程編成に関する件について

(校長) 経験の浅い教員が増えたため、誰でも同じように形を作るということを目指して、学習規律「音貝スタンダード」の確立を図る。生活面では安全対策、いじめ防止の強化、保護者との情報共有を推進する。

→学校運営方針について、出席委員全員の賛成で承認

(4) 音貝小学校地域とかかわる事業（授業）の計画及び課題について

【50周年記念事業について】

ア 目的

→児童・保護者・地域の方と共に50周年を祝い、学校の歴史を振り返ることで、学校や地域への誇りと愛着を育む機会とする。

イ 内容

→記念行事や昔の写真展示など、地域と連携した事業を行う予定。

ウ 運営

メンバーは学校運営協議会会長、PTA（会長）、白土自治会2名、西白土自治会3名、学校（校長、教頭、校務主任、児童会担当）で構成される。
予算はPTAの積立金を活用する。

エ 自治会への依頼事項

【記念行事における講師の推薦・調整】

会議中に柴田委員、武藤委員、箕浦委員を含む複数の候補者の名前が挙がった。今後自治体等で相談・調整のうえ、学校側と連携して決定する予定。また、協力していただける方の推薦や紹介があれば、随時学校側へ連絡していただくように会議参加者へ依頼した。

【学校ボランティアの募集について】

(教頭) 他校では朝学習の丸付けなどをボランティアの方に手伝っていただいているという話を聞いた。音貝小学校でも、2年生の町探検の際に保護者ボランティアを募り、何人か応募があった。町探検だけではなく、花壇の整備やヘチマの植え付け、ベトナム国籍児童の学習補助など様々なことをボランティアの方に手伝っていただきたいと考えている。保護者にはメールで募集の呼びかけができるが、地域の方にはどのように募集を進めていくか検討したい。

(委員) 以前の読み聞かせボランティアの経験から、募集するのであれば窓口を限定的にし、問題が起きないように対策が必要である。

(委員) 子どもの安全を最優先に、ボランティア活動は学校または自治会を通

して行い、安全性を担保する仕組みを取っていききたい。

(事務局) 長期的にボランティアの募集・育成を進めていく姿勢が必要。今の学校側の提案だと抽象的なため、一覧を作成するなど具体的な提案をしてほしい。

(会長) 自治体への周知は回覧板を利用するのが良いと思う。枚数やチラシの印刷は学校側と自治会で相談して対応していききたい。

(5) 令和7年度 学校運営協議会予定について

(事務局) 次回は11月19日(水)を予定しているが、50周年記念行事に関連する臨時会議を開催する可能性がある。

(6) その他

(教頭) 地域と学校の協働推進に向け、今後もボランティア募集や地域参画の強化を図っていききたい。